

(要領第5の2(1)関係)
(様式3)個別箇所評価シート

建設部 砂防課

分野	人家に対する地すべり対策急傾斜地崩壊対策		事業番号	11	事業名	地すべり対策			
市町村名	長野市	ふりがな箇所名	むらやま村山		事業年度 (完了年度は見込み)	H24	年度～	H32	年度
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	横ボーリング工 L=5,270m、集水井 4基 水路工 L=1,150m、集水ボーリング L=3,000m			300,000	150,000		135,000	15,000
	H25年度	地形測量、地質調査、地すべり観測、機構解析 1式			10,000	5,000		4,000	1,000
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			部	評点
	必要性 (30)	保全対象人家数	■ 10戸以上		□ 1～9戸	□ 0戸未満		B	10
		保全対象公共施設数	■ 2箇所以上		□ 1箇所	□ なし			5
		保全対象に災害時要援護者関連施設の有無	□ 重要施設		□ 一般施設	■ なし			0
		土砂の河川への流入量	■ 10万m3以上		□ 1万～10万m3	□ 1万m3未満			5
			□ なし						0
		小計							20
	重要性 (10)	交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大		□ 中	□ 小		A	7
		防災計画上の位置づけ	■ 位置付けあり		□ 位置付けなし				3
		小計							10
	効率性 (10)	費用対効果(B/C)	■ B/C1.5以上		□ B/C1.0以上1.5未満	□ B/C1.0未満		B	4
		早期発現度	□ 5年未満		■ 5年～10年	□ 10年以上			2
		代替案の検討	□ あり		■ なし				0
		小計							6
	緊急性 (40)	地すべりの動き	■ 顕著な動きがある		□ 軽微な動きがある	□ 動きなし		A	30
地すべり変状		■ 変状あり		□ 変状なし			10		
小計									40
計画 熱度 (10)	地元の協力	■ 反対意見なし		□ 反対意見あり			A	5	
	地域からの要望	■ 高い		□ それほど高くない				5	
	小計							10	
費用対効果(B/C)		17.61			評価の合計			A	86
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	基盤地質は新第三紀の泥岩・砂岩で、地すべりが多発している地質である。古い地すべりも明確に認められ、地すべりによって形成された斜面は耕作地となっている。平成13年にはDブロックで下方平坦地に土砂が押し出し、次第に地すべり活動が顕著となっている。							
	地域からの要望経緯	平成24年4月11日、村山区役員が土尻川砂防事務所にて事業について要望あり。							
	事業説明等の経緯	平成23年10月1日、地元住民に対し地すべり防止区域指定等に関する説明会を開催した。							
	環境・景観への配慮項目	横ボーリング孔口等、地表に露出するものはふとん管など自然の資材をも用いたもので施工し、環境や景観に馴染むよう配慮する。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
	特記事項	地すべり活動が活発化しており、小規模崩落等が顕著になっている。また、地下水位が高く地盤が恒常的に湿っている状態であり、大規模地すべりに至る危険性が非常に高い。							
地域の合意形成	□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明		
部意見	大規模な地すべりが発生する恐れが高く、被害による社会的影響も高い。地元要望も強い箇所であり、早急に対策を行う必要がある。				行政改革課 意見	重要性、緊急性が高い。			